

9/7(金)命を救う大切な学習



避難訓練や防犯訓練など、「自分の命を自分で守る」勉強を今までやってきた5年生のみなさん。しかし、今回は「誰かの命を救う」勉強です。鳥居川消防署のみなさんに講師になっていただき、「心肺蘇生の仕方」「AEDの使い方」について教えていただきました。体育の授業や休み時間、水泳の時間中に、友達が「急に倒れてしまった!」「息も止まっている!」「意識もない!」ということが、今後、万が一かもしれませんが起こるかもしれません。また、学校生活以外でも、そんな場面に遭遇するかもしれません。

そんな時、「自分ができることを、まずしよう!」ということが大切です。

今回は、救急車が来る前にできることとして、①反応を確認する②応援を呼ぶ③呼吸の確認④胸骨圧迫(心臓マッサージ)⑤AEDを使うといった流れを一通り学習しました。5つのグループに分かれ、講師の方々に、その都度ていねいにアドバイスしていただき、一人一人が実際に行っていました。

思い切って声をかけることや、周りの人の助けを求めることの大切さを感じたり、胸骨圧迫の際、「力をけっこう入れることが必要」だとわかったり、AEDの使い方を理解したいと、今までにできなかった学びができた5年生のみなさんです。「誰かの命を守る学習」を終えた姿は、ひとまわり大きくなったような気がします。